

フェアトレードについて

8AWK1116

マエカワ コウヤ

きっかけ

越田先生の「NGO論」を受けて初めて知った。

フェアトレードとは

直訳すれば「公平な貿易」。
現在のグローバルな国際貿易の仕組みは、経済的にも社会的にも弱い立場の開発途上国の人々にとって時に「アンフェア」で貧困を拡大されるものだという問題意識から、南北の経済格差を解消する、「もうひとつの貿易」として始まった運動。

国際的フェアトレード・ネットワークによれば・・・

フェアトレードは対話、透明性、敬意を基盤とし、より公平な条件下で国際貿易を行うことを目指すパートナーシップである。特に「南」の弱い立場にある労働者に対しより良い貿易条件を提供しかつ彼らの権利を守ることにより、フェアトレードは持続可能発展に貢献する。フェアトレード団体は生活者の支援、啓発活動、および従来国際貿易のルールと慣行を変える運動に積極的に取り組むことを約束する。

始まりは・・・

1950年、イギリスのオックスフォムが中国の難民が作った手工芸品を販売。
58年、「フェアトレード」ショップ第一号店がアメリカでオープン。など・・・

ではフェアトレードでどんな公正が実現できるか？

所得、富の上昇 = 経済的不平等をなくすプロセスへのスタート

公正な価格という視点=コーヒー販売会社の一方的価格決定をやめさせる、生産者の価格決定への参加

例えば・・・

コーヒーの場合

生産国のほとんどは開発途上国といわれる国々。コーヒー豆の買取価格は生産現場とは遠く離れたニューヨークのロンドン国際市場で決められる。国際市場価格は変動が激しく生産コストを大幅に割り貧困に拍車をかけてしまうこともある。市場へのアクセスがなく、社会的立場の弱い生産者たちは中間業者の言い値で買い叩かれて生産コストすらまかなえない、子供を学校に行かせるだけの十分な利益を得られないということが起こってしまいます。。。

そこで・・・

国際フェアトレード基準では、生産者の持続可能な生産と生活を支えるために必要な「フェアトレード最低価格」が定められていて国際市場価格がどんなに下落しても輸入業者はこの価格以上を生産者組合に保証しなければいけない。さらに、1ポンドあたり10USセントの奨励金が輸入業者から生産者組合に保証、それにより自ら民主的に用途を決定して生産技術の向上や機材購入、地域の小学校や病院の建設といった社会発展を実現させることが可能となる。

例えばレギュラーコーヒー150gの場合、奨励金は約4円。コーヒー一杯に換算すると0.3円程度。しかし通常コーヒー豆は10トン100トンの大きな単位で取引されるため、生産者が手に入れる奨励金は30万、300万円といった金額になる。生活地域の社会発展に大きくつながっている。

このフェアトレード最低価格と奨励金により、生産者は安定した生活を送ることができる。

どこで買えるか

PEOPLE TREE…… フェアトレードを扱う通販サイト
直営店が、東京に3つある。

みんなの…… フェアトレード雑貨とレストラン

アースカバー…… フェアトレード&オーガニック
関東以北最大級のフェアトレードショップ

お店の看板



外から



お店の中



紅茶(ウバ)とゴーストマスコット



参考

アースカバー <http://www.earthcover.co.jp/>

People Tree <http://www.peopletree.co.jp/index.html>

フェアトレードラベルジャパン <http://www.fairtrade-jp.org/>